

社会保障領域のインフルエンサーを目指す医療法人東西会グループ

連載 136 在宅医療奮闘記

平成7年より在宅を開始した私の思い出

(医)東西会 千舟町クリニック理事長 橋本 満義 (71歳・内科)

「人の命」生きるに関わる社会保障業務は私達の人生をも育み、成長・充実を与え、患者様、医療従事者両者両得となる。



在宅医療は過去にその意義を何度も指摘されてきましたが、2025年問題として厚労省でとりあげられ、最近では「おうちにかえろう。病院」(東京)などが開設される時代となりました。

国は、病院中心でなく、居宅(自宅・施設)での治療生活が主であると、強く医療業界を誘導指導したのです。

さて、今後の最終目的は団塊世代が後期高齢者になる2035年問題の解決だとされています。すなわち2025年問題はその通過点です。

最近では人生100年の時代到来と言われ、健康長寿

が求められています。

生命科学的には、その寿命は染色体の末端(テロメア)で既定制限されていて、人間だけが他の動物より生殖期後約1割の生存ルールをはるかに超えて生き続けるのは“文化継承”の為とも言われています。

あくまで患者様と介護医療従事者との立場を超えないでおくことが、必須事項なのですが、在宅患者様に接する時、改めて「声なき声」に耳を傾け、知らず知らずのうちに単に弱者と決めつけるのではなく、「文化継承者」として、生活全般を傾聴し視座を持つ事も大切だと思われま

～安全・安心・健康塾～

〈ボランティア活動〉

人の命は、呼吸停止、心停止後5分間で死に至ります。(5分間ルール)現場の人たちを救命救急士として教育する「安全・安心・健康塾」出張講義に、期待が集まります。



医療法人 東西会グループ

外来診療 (かかりつけ医) 内科 要予約
内科・外科・麻酔科・ペインクリニック内科
(医師/薬村 歩)

お医者さんが来てくれる! 24時間・365日体制で対応 (松山市全域)

私たちは、質の高い在宅医療・看護・介護を目指しています。

医師数 22名 (令和3年11月現在)

末期がん治療 (緩和ケア) 相談室開設!



(医)東西会イメージキャラクター「イチゴ・ツル・カメ」三世代の「絆」を表すキャラクターです。イチゴはこどもたち、ツルはお父さん・お母さん、カメはおじいちゃん・おばあちゃんを表しています。

国立愛媛大学附属病院臨床研究協力機関
大阪医科大学(研修医・医学生)在宅医療研修・研究協力機関
関西医科大学との在宅医療研修・研究協力機関

機能強化型・有床 在宅療養支援診療所

(医)東西会 千舟町クリニック

松山市千舟町6-4-9
Tel:089-933-3788
http://www.touzaikai.jp/